

2月の乳幼児の健康診査

*該当月に受けられない場合は子育て支援課または各支所保健福祉課へ連絡してください

地域	内容	対象	日	受付時間	場所
一関 花泉	3～4カ月児健診	28年10月1日～13日生まれ	22(※)	12:45～13:00	一関保健センター
		28年10月14日～31日生まれ	23(※)		
	9～10カ月児相談	28年4月1日～16日生まれ	22(※)	8:45～9:00	
		28年4月17日～30日生まれ	23(※)		
	1歳6カ月児健診	27年7月1日～15日生まれ	9(※)	12:45～13:00	
		27年7月16日～31日生まれ	10(金)		
2歳6カ月児歯科健診	26年8月1日～14日生まれ	9(※)	8:45～9:00		
	26年8月15日～31日生まれ	10(金)			
3歳児健診	25年8月1日～14日生まれ	2(※)	12:45～13:00		
	25年8月15日～31日生まれ	3(金)			
大東 千厩 東山 室根 川崎 藤沢	3～4カ月児健診	28年10月生まれ	21(火)	12:45～13:00	川崎防災センター
	9～10カ月児相談	28年4月生まれ	14(火)	9:00～9:15	千厩保健センター
	1歳6カ月児健診	27年7月生まれ	16(木)	12:45～13:00	
	2歳6カ月児歯科健診	26年8月生まれ	14(火)		
	3歳児健診	25年8月生まれ	15(水)		

*きょうだいなどの同伴でお手伝いが必要な人は託児スタッフが対応します。健診日の2週間前まで申し込んでください

☎子育て支援課（一関保健センター内）または各支所保健福祉課

information

ふれあいひろば

☎一関子育て支援センター ☎21470
◇日時…月～(木) 9:30～15:30、(金)・第1(火)・第3(水) 13:30～15:30 (祝日を除く)
◇場所…一関保健センター

第6回岩手県南認知症ケア研究会

☎岩手県南認知症ケア研究会事務局
(国保藤沢病院内) ☎5211
◇日時…2月25日(土)14:00～16:30
◇場所…一関文化センター
◇内容…特別講演、無料相談会など

一関傾聴ボランティアともしび

☎健康づくり課（一関保健センター内）
◇日時…2月21日(土)10:00～11:30
◇場所…一関保健センター
◇内容…一関傾聴ボランティアともしび会員による傾聴

アルコール家族教室

☎健康づくり課（一関保健センター内）
または 各支所保健福祉課
◇日時…2月7日(土)14:00～16:00
◇場所…県立南光病院
◇申し込み…事前に電話で

フリースペースひだまり

☎健康づくり課（一関保健センター内）
◇日時…2月6日(土)、2月20日(土)の13:30～16:00
◇場所…一関勤労青少年ホーム
◇内容…ひきこもり当事者の居場所、家族の憩い・集いの場所



文・一関市消防本部

救急隊と介護に携わる人たちの関わりについて

一関市消防本部管内の救急出動件数は、2011年から14年まで6千件を超えていましたが、15年は5,825件で、6千件を下回りました。

このうち、65歳以上の高齢者の救急搬送割合は、13年で全体の66.4パーセント、14年で66.6パーセント、15年には68.2パーセントと徐々に増加していて、今後とも増加していくものと思われます。

緊急時は応急手当や適切な医療機関への救急搬送が必要です。これらを担うのが救急隊の役割です。救急隊員は、緊急時、傷病者の状態・関係者からの状況を家族などから聴き、かかりつけ医や連携している病院への搬送を判断します。

そこで重要なのが傷病者の普段の生活状態や既往症などの情報です。これらの情報を病院や福祉施設、関係機関が共有することで緊急時の迅速な病院選定が可能となります。

慢性期の疾患や要介護の高齢者の多くは、日常的に地域包括支援センター、ケアマネージャーや民生委員など、地域の福祉や在宅医療に支えられています。

福祉に従事する人たちや、介護をしている家族こそ「いざというとき」を想定し、救急車の呼び方や応急手当の方法を学んでほしいと思います。

応急手当の方法などについては、最寄りの消防署・分署に問い合わせてください。

☎健康づくり課（一関保健センター内）

消防団の心意気を込め、市消防団が初纏振り

28本の纏振りで無火災を願う

1年の無火災、無災害、商売繁盛などを願う「一関市消防団初纏振り」は1月2日、大町商店街で開かれ、市内全域の消防団纏組約120人が纏を振って沿道に集まった住民に火災予防を呼びかけました。

大森忠雄団長は「無事故、無災害、無火災を願い、消防魂を込め纏を振ってほしい」とあいさつ。半纏をまとった団員は「エンヤー、サッサイ」の掛け声に合わせて纏振りを披露。沿道から盛んな拍手が送られました。一関地域本部長の佐藤隆士さんは「火の取り扱いに十分注意し、火災予防に努めてほしい」と話していました。



男衆の熱き蘇民袋争奪戦

興田神社で伝統の蘇民祭

大東町鳥海の興田神社蘇民祭は1月8日、同神社などで開かれ、市内外から参加した男衆35人が無病息災や五穀豊穡を願い、蘇民袋の争奪戦を繰り広げました。

氷点下の冷え込みの中、上半身裸でさらしを巻いた参加者は、燃え上がるやぐらに登って氣勢を上げました。クライマックスの蘇民袋争奪戦では「ジャッソー、ジョヤサー」と威勢のいいかけ声を上げ、激しくもみ合いながら袋を奪い合いました。

厄年で、仲間3人と参加した佐藤喜明さん(40・同町鳥海)は「3回目の参加です。祭りを通して地域が盛り上がり、今年1年、健康で過ごしたい」と話してくれました。



楽天ジュニアで12球団トーナメントに出場

千厩小の金野君、全国の舞台を踏む

千厩小6年の金野佑楽君が昨年の12月27日から29日まで宮崎県で開かれたNPB12球団ジュニアトーナメントに東北楽天ゴールデンイーグルスジュニアチームの一員として出場し、全国の頂点を目指しました。チームは東北地方の児童18人で構成。岩手県内からは金野君を含め6人が選ばれました。

小学3年生から野球を始めた金野君は、今年の県大会で4強の原動力に。大会ではサードを守り、ノーエラー。ペイスターズ、巨人のジュニアチームとの試合で活躍しました。金野君は「全国の選手たちのプレーは刺激になった。中学でも高校でも全国を目指す」と誓いを新たにしていました。



新春を祝い44基の臼で餅つき

日本最大の餅つき大会で餅を振る舞う

44基の臼で餅をついて新春を祝う「日本最大新春餅つき大会」は1月2日、大町で開かれました。餅つきは、一関民謡保存会の唄に合わせて正午からスタート。過去最高の44基の臼が並べられ、用意された8斗8升のもち米をつきました。

今年はマスクの着用、手洗い、熱湯消毒、手袋の着用など食中毒対策も万全。沿道から「ヨイショ、ヨイショ」の掛け声もあがり、会場にはぎわいました。つきたての餅は、あんこ、みたらし、ごま、ずんだに味付けて来場客らに振る舞われました。高橋一球君(山目小1年)は「餅は大好き。あと3つは食べたい」とおいしそうに頬張っていました。